



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライアイズ
 コード番号 4840 URL <http://www.triis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 池田 均
 (氏名) 小出 美紀

TEL 03-3221-0211

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	360	△41.7	△139	—	△13	—	△36	—
26年12月期第1四半期	618	0.4	△67	—	△65	—	△74	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △38百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 △76百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△3.48	—
26年12月期第1四半期	△6.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第1四半期	6,767	6,007	87.4	593.24
26年12月期	7,203	6,465	88.5	590.63

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 5,917百万円 26年12月期 6,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年12月期	—	0.00	—	12.00	円 銭	12.00
27年12月期	—	—	—	—	円 銭	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	12.00	円 銭	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,592	△26.1	90	△50.1	90	△59.6	9	△90.4	0.83
通期	2,853	△18.6	100	△5.5	100	△44.8	10	△92.7	0.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	12,000,000 株	26年12月期	12,000,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	2,024,780 株	26年12月期	1,203,690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	10,390,841 株	26年12月期1Q	11,290,802 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続する円安と株高により、輸出企業を中心に業績回復基調が継続する一方で、アベノミクスによる経済格差が広がりを見せ、さらに消費税増税、物価上昇の影響による個人消費と設備投資の回復の遅れなど、懸念材料が見受けられます。

一方、世界経済は米国では雇用環境や個人消費の改善等を背景に堅調に推移しましたが、欧州の景気低迷の長期化、アジア地域など新興国経済の成長の鈍化など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、トライアイズグループは、景気変動の影響を受けない企業グループとして、小さくとも知性を使って、その世界ではNo. 1となり光る企業グループを目指すという方針のもと、「イノベーションによるコスト優位の確立」を最重要目標とし、売上が減少しても黒字化できる体質づくりを続けており、直近の三事業年度にわたり順調に業績回復を実現することができました。当期につきましても引き続き、連結ベースでの営業利益・経常利益の黒字化は当然ながら、これらの増益及び最終損益の黒字化を目指しております。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は360百万円(前年同期比41.7%減)、販売費及び一般管理費は305百万円(前年同期比5.5%減)と更なる削減を実現しておりますが、営業損失は139百万円(前年同期は67百万円の営業損失)、受取利息の計上もあり経常損失は13百万円(前年同期比は65百万円の経常損失)、税金等調整前四半期純損失は13百万円(前年同期は65百万円の税金等調整前四半期純損失)、四半期純損失は36百万円(前年同期は74百万円の四半期純損失)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業においては、全国的に防災・減災対策関連の業務の受注が増えました。さらに、河川管理施設等のインフラ修繕や長寿命化計画策定等に関連する業務の受注も増加傾向にあり、重点業務の受注比率が大きくなっております。引き続き、従来型業務から維持管理を中心とした継続性の高い業務への転換を図ってまいります。なお、建設コンサルタント事業は官公庁からの受注業務が大半を占めており、売上高は第2四半期に集中する傾向にあります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は101百万円(前年同期比62.7%減)、営業損失は118百万円(前年同期は66百万円の営業損失)となりました。

(ファッションブランド事業)

ファッションブランド事業においては、消費税増税や輸入物価上昇による実質賃金の低下に伴う節約志向が継続しており、引き続き厳しい経営環境となりました。そういったなか、ブランド、CLATHASについては、ブランドイメージを確立するプレミアムラインと既存の顧客をターゲットとするベーシックラインに分け、幅広い顧客獲得のための商品構成とブランド認知の拡大に努めてまいりました。ファッション雑誌とのコラボレーション企画、ネット販売を強化すべくグローバル市場向けの英語版オンラインショップの準備など、販売力強化に取り組み、引き続きブランド価値の向上と拡大を進め、業績回復を目指します。

濱野皮革工芸㈱については、販路の見直しにより売上は減少しておりますが、物流コストの削減、原材料の価格の高騰による販売価格の見直しなど、より効率的な生産体制の確立と、利益体質の強化を進めてまいりました。今後も老舗ブランドとしての地位を向上させるべくMade in Japanの上質な商品の提供を行っていくとともに、経営努力による収益の拡大を図ってまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は258百万円(前年同期比25.2%減)、営業損失は17百万円(前年同期は45百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ435百万円減少し、6,767百万円となりました。これは主に「仕掛品」が161百万円増加しましたが、「現金及び預金」が592百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、760百万円となりました。これは主に、「前受金」、「賞与引当金」及び「支払手形及び買掛金」がそれぞれ47百万円、24百万円、12百万円増加、「その他」が60百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、458百万円減少し、6,007百万円となりました。主な減少要因は配当金の支払いに伴う利益剰余金129百万円と自己株式取得による293百万円及び四半期純損失計上に伴う利益剰余金36百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成27年2月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,376,039	1,783,292
受取手形及び売掛金	255,537	127,586
有価証券	104,361	120,196
商品及び製品	320,097	312,087
仕掛品	232,661	394,473
原材料及び貯蔵品	56,787	54,875
繰延税金資産	61,420	61,820
その他	161,392	196,189
貸倒引当金	△284	△442
流動資産合計	3,568,013	3,050,080
固定資産		
有形固定資産		
土地	809,621	809,621
その他(純額)	223,727	219,152
有形固定資産合計	1,033,348	1,028,774
無形固定資産		
のれん	586,441	543,044
その他	49,187	46,948
無形固定資産合計	635,629	589,993
投資その他の資産		
投資有価証券	1,787,700	1,913,277
その他	199,917	207,176
貸倒引当金	△21,548	△21,548
投資その他の資産合計	1,966,069	2,098,905
固定資産合計	3,635,046	3,717,673
資産合計	7,203,060	6,767,754

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,224	125,593
未払法人税等	25,936	27,181
前受金	284,766	332,298
賞与引当金	—	24,577
返品調整引当金	5,007	4,096
受注損失引当金	919	353
その他	241,906	181,476
流動負債合計	671,760	695,576
固定負債		
資産除去債務	24,293	23,337
その他	41,632	41,632
固定負債合計	65,925	64,969
負債合計	737,686	760,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	1,926,030	1,926,039
利益剰余金	△250,250	△415,934
自己株式	△310,918	△604,736
株主資本合計	6,364,861	5,905,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△877
為替換算調整勘定	11,771	13,169
その他の包括利益累計額合計	11,771	12,292
新株予約権	88,741	89,545
純資産合計	6,465,374	6,007,207
負債純資産合計	7,203,060	6,767,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	618,871	360,559
売上原価	363,380	195,030
売上総利益	255,490	165,528
販売費及び一般管理費	322,646	305,057
営業損失(△)	△67,156	△139,529
営業外収益		
受取利息	399	112,417
投資有価証券売却益	—	15,301
不動産賃貸収入	3,498	1,960
その他	861	314
営業外収益合計	4,759	129,994
営業外費用		
支払利息	51	—
不動産賃貸原価	2,183	2,284
支払手数料	—	1,838
その他	430	138
営業外費用合計	2,665	4,260
経常損失(△)	△65,061	△13,795
特別損失		
その他	51	—
特別損失合計	51	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,113	△13,795
法人税等	9,123	22,332
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△74,237	△36,128
四半期純損失(△)	△74,237	△36,128

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△74,237	△36,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△877
為替換算調整勘定	△1,811	1,398
その他の包括利益合計	△1,811	521
四半期包括利益	△76,049	△35,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76,049	△35,606
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	272,971	345,899	618,871	—	618,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	272,971	345,899	618,871	—	618,871
セグメント損失(△)	△66,395	457	△65,937	△1,218	△67,156

- (注) 1. セグメント損失(△)の調整額△1,218千円には、セグメント間取引消去6,514円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△7,733千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	101,866	258,693	360,559	—	360,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	101,866	258,693	360,559	—	360,559
セグメント損失(△)	△118,501	△170	△118,671	△20,857	△139,529

- (注) 1. セグメント損失(△)の調整額△20,857千円には、セグメント間取引消去6,210円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△27,067千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。